

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.90 平成28年2月

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6F tel:092-733-5707

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

目次

◆URCニュース

- ①久保隆行上席主任研究員がTV出演！・・・・・・・・・・1
- ②「国際化戦略都市研究会」の皆様がURCを訪問・・・・1
- ③平成27年度 第5回 都市セミナー開催予告・・・・・・1
- ④平成27年度 第6回 都市セミナー開催予告・・・・・・2
- ⑤平成27年度 市民研究員最終報告会開催予告・・・・・・2

◆URC資料室ニュース

◆URCニュース

①平成27年度 第3回ミニセミナー開催予告・・・・・・・・・・3

②資料室リニューアル中・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

◆今月のおすすめ

「【f U+16号】イノベーション都市・福岡」・・・・・・・・・・3

◆所員雑感 留学生との交流会「CIPカフェ」が第10回
目を迎えました。・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

◆マスコミでみるURCの今・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

◆「資料速報 平成28年1月受入分」別添

①久保隆行上席主任研究員が、2月20日土曜日「KBC土曜もアサデス。」に出演します！

1月25日、KBC九州朝日放送の取材スタッフの皆様が、都市政策資料室に来られました。目的は、久保上席主任研究員へのインタビューです。URC内で、当資料室がインタビュー会場に選ばれました。

2月20日にオンエア予定の特集内容は、福岡大研究「福岡移住～福岡市編」です。

福岡への移住はいつごろから増えたのか？なぜ増えたのか？年間どのくらいの人たちが、どこから移住して

いるのか？年齢層は？等のインタビュー秋本ゆかりさんの質問に、情報戦略室長ならではの視点で、データに基づき回答しています。

多くの方にご視聴いただき、福岡の魅力を再発見されましたら幸いです。

* なお、緊急性の高いニュースの発生等により、予告なしに放映時間等が変更されることがあります。 (山崎三枝 司書)

②「国際化戦略都市研究会」の皆様がURCを訪問されました。



当研究所企画委員の橋爪紳也氏（大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授・観光産業戦略研究所長）が座長を務める「国際化戦略都市研究会」の 13 名の皆様は 1 月 26 日に URC を訪問されました。

同会は、関西の都市インフラ関連企業（関西電力㈱、大阪ガス㈱、西日本電信電話㈱、㈱竹中工務店、㈱大林

組など）で構成され、大阪の国際化、国際競争力向上を目指し、世界のベンチマーク都市の調査・研究をする等、都市開発、都市再生の視点から大阪での具体的方策等の検討を進められています。

今回の URC 訪問は、定量的／定性的パラメータ等を用いた都市施策検討の参考事例として、昨年度総合研究『「第3極」の都市』及び今年度総合研究『福岡の国際競争力向上に関する研究』の、研究目的／評価手法／今後のプラン等の理解促進を目的に来所されたもので、久保隆行上席主任研究員からの詳細な説明と、それに続く質疑応答を通して理解を深めていただきました。

当研究所の研究成果が、福岡に止まらず他地域の参考にしていただけたことは、喜び・誇りであり、また、貴重な機会でした。今後も、国内外他地域とこのような機会を増やし、相互の都市成長に資することができるよう、職員一同、研究や情報交換に努めて参ります。

写真出典：国際化戦略都市研究会 ご提供
(白浜康二 主任研究員)

③平成27年度 第5回都市セミナー (BODIKセミナー)「データドリブン社会の到来」を開催します。

ICT（情報通信技術）が著しく進歩し、リアルタイム

に莫大なデータが蓄積されていく中で、データの利活用

に関する取り組みも急速に進み、様々な領域において膨大に蓄積されたデータを利用し、現実の社会的課題を、コンピュータ上の仮想的な社会システムの中で解決するような動きも始まっています。

「ビッグデータ・オープンデータ研究会 in 九州 [BODIK]」(＝福岡市・ISIT・URCの3者で構成する研究会)では、データが社会を変えるイノベーションのキーファクターともいわれる現在の状況について、有識者の講演や事例報告によるセミナー「データドリブン社会の到来」を、本年度第5回目の都市セミナーとも位置づけて開催します。

全国各地でオープンデータの利活用促進に精力的に取り組まれている、(一社)オープン・コーポレイツ・ジャパン常務理事の東 富彦氏による基調講演のほか、

BODIK代表で、オープンデータを活用し、特に自治体と連携してのイノベーション創出を推進中の村上 和彰氏、オープンイノベーションによる公共課題解決手法の研究等に取り組む天野 宏欣 URC フェローのお2人による事例報告を行ないます。

開催日時と会場は平成28年2月22日(木)曜日 13:30～15:30、アクロス福岡 1階 円形ホール、内容や申込み方法等の詳細は、URC ホームページや、福岡市役所 1階情報プラザなどで配布中のチラシをご覧ください。お申込みはメール又は FAX で 2月18日(木)曜日当研究所必着です。URC ホームページの申込みフォームからお申込みいただけます。都市/福岡やデータ利活用の将来などに関心をお持ちの皆様のご参加を、心よりお待ちしております！ (白浜康二 主任研究員)

④平成27年度第6回都市セミナー「グローバル人材活躍型都市形成に向けて」を開催します。



政府は2015年から『外国人材活躍推進プログラム』の実施により、国内企業等での就職を希望する、留学生をはじめとする外国人と、外国人の採用に興味・関心のある国内企業等を結び付ける仕組みの強化を推進しています。

⑤平成27年度 市民研究員研究成果発表会のお知らせ

昨年7月から約9か月間にわたり活動が続けてきた平成27年度市民研究員6名による研究成果発表会を行います。

今年度は「アジアの先進モデル都市・福岡のまちづくり」をテーマに、これまで月2回の定例会における議論や、個々による自主的な調査・研究、大牟田市への視察や中間報告会なども行い、大変充実した期間となりました。

市民研究員6名が、様々な視点から福岡のまちづくりについて、どのような報告を行うか、ぜひお聞きいただきたいと思います。皆さんのお越しを心からお待ちしております。

なお、事前申込みが必要となりますので、下記「申込

本年度6回目の都市セミナーは、そうした流れを踏まえながら、「グローバル人材活躍型都市形成に向けて」と題し、海外展開やインバウンドビジネスを志向する中小地場企業を対象に、留学生の個性を活かした交流の場の提供や、マッチングツールの一つとしてのSNS活用など、福岡における実際の取り組みや経験談を通して、外国人の就職チャレンジ支援の可能性について理解を深めることを目的に開催いたします。

開催日時は3月16日(水)曜日 14:00～17:30、会場は福岡市役所 15階 講堂です。内容や申込み方法等の詳細は、URC ホームページ、チラシ等をご覧ください。お申込みは3月11日(金)曜日、当研究所必着です。

事業者、留学生ほか、関心をお持ちの皆様のご参加を広くお待ちしております。

写真出展：第6回都市セミナーのチラシから

(白浜康二 主任研究員)

み方法」のとおりお願いします。

◆日時：平成28年3月12日(土) 13:30～16:30 (開場 13:00)

◆会場：アクロス福岡 2階 セミナー室2 (福岡市中央区天神 1-1-1)

◆個別研究テーマ ※氏名五十音順。当日の発表順ではありません。

『福岡市における新たな宿泊サービス機能の拡充に関する研究』 伊東 克啓さん

『市民の知を支える市立図書館の在り方についての検討』 岩井 千華さん

『ミュージシャン・アーティストのまち・福岡形成戦略』 大澤 理宗さん

『多文化共生の実現に向けた地域の取り組み』
岡田 憲二郎さん
『先進モデル都市の実現に向けた諸問題への考察と提言』 河野 弘史さん
『中国マーケットへの展開方策に関する実践的研究』
平野 紘輝さん
◆申込み方法
下記を明記のうえ、E メール又は FAX にて、福岡アジア都市研究所までお申込み下さい。
(1)「市民研究員発表会(3月12日)」参加希望
(2)参加希望者の《氏名・ふりがな》《電話番号》《メール

アドレス》
◆締切・定員
平成28年3月8日(火)まで(弊所必着)定員50名(申込み先着順)参加無料
◆申込み・問合せ先
公益財団法人福岡アジア都市研究所(担当:馬場)
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館6階
TEL:(092)733-5687 FAX:(092)733-5680
E-mail:shimin@urc.or.jp (馬場孝徳 調整係長)

◆URC資料室ニュース

①平成27年度 第3回ミニセミナー「日本の玄関、大陸の玄関：戦前福岡・釜山の都市政策」を開催します。

講師:Hannah Shepherd(ハナ・シェパード)氏 ハーバード大学学術系大学院歴史学科博士課程2015-2016 九州大学人文科学研究院 訪問研究員

当研究所のミッションである都市について理解を深めていただくために、ミニセミナーを開催します。

今回の講師、ハナ・シェパードさんの研究対象は、戦前の福岡市と対馬海峡を挟んだ釜山市の都市化過程についてです。ミニセミナーでは、当時の資料に基づいて、主に人口の変遷や市民生活、都市政策についてお話していただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】平成28年2月24日水曜日
18:30~20:00(受付18:00~)
【会場】福岡アジア都市研究所 会議室

(福岡市役所 北別館6階)

【主催】(公財)福岡アジア都市研究所【共催】福岡市

【お申し込み】電話かFAXまたは、E-mailで、住所・氏名・電話番号を添えて下記へお申し込み下さい。

【締切・定員】平成28年2月22日月曜日まで(弊所必着)定員30名(申込み先着順)参加無料

☎:092-733-5707、FAX:092-733-5680

e-mail:library@urc.or.jp

写真出典:Hannah Shepherd(ハナ・シェパード)さんご提供
(山崎三枝 司書)



②都市政策資料室はリニューアルを行っています。

都市政策資料室は、交流スペース拡大のために、資料のコンパクト化を行っています。ただ、廃棄するだけではなく、できるだけ公共図書館や大学図書館等、使っていただける機関にお譲りするよう心掛けています。最後は、利用者の皆様のご希望の方に差し上げる予定です。

作業中は、ご不自由をおかけすると思いますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新くなる資料室にご期待ください!

(山崎三枝 司書)

◆今月のおすすめ

都市情報誌 f U+イノベーション都市・福岡【f U+16号】発行!!

当研究所のf U+は、都市情報、研究員レポート、セミナー・イベントなどをお知らせする広報誌です。今回「イノベーション都市・福岡」をテーマに、市民の皆さんと「福岡のまちづくり」を考えるきっかけとなるように目指して

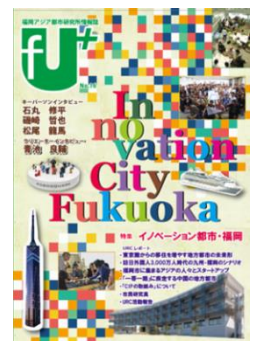
発行しました。当研究所、情報プラザなどで配布しておりますので、一読いただければ幸いです。

(総務課・足立麻理子)

◆所員雑感 留学生との交流会「CIPカフェ」が第10回目を迎えました。

外国人留学生の就職から定着までを支援する目的で平成26年10月に設立したCIP(クリエイティブインタ

ーチェンジプラットフォーム(Creative Interchange Platform))では、平成27年4月から毎月第2土曜日に、



訪日外国人旅行者のインバウンドの拠点「好いとう福岡 (SUITO FUKUOKA)」にて「CIP カフェ」を行っています。「CIP カフェ」とは、福岡で働く元留学生が中心に企画した、留学生（元留学生）・企業関係者・市民同士の交流会です。誰もが参加できるこのイベントでは、留学生が母国の料理を調理し、参加者で試食をしながら、留学生による母国の文化及び言語の紹介や、自己 PR の練習及び悩みの相談等を行っています。その中でも、参加者が二人組となり、参加した感想を述べ合ったり、CIP の PR をインタビュー形式で録画し、編集後、SNS を通じて配信する事がこのイベントの特徴だと言えます。

平成 27 年 4 月からの開催後は、留学生支援団体関係者・大学関係者なども参加しています。平成 28 年 2 月で 10 回目を迎えた「CIP カフェ」の合計参加者数は 199 人（1 回の平均参加者数は約 20 人）で、そのうち外国人は 109 人（12 カ国）です。インド、インドネシア、フランス、ネパール、タイ、イギリスなど国籍は様々です。在留資格をみると、「留学」だけでなく、大学を卒

業し、日本で引き続き就職活動を行うための「特定活動」から、高度人材ポイント制度による「高度専門職」まで幅広く、同じ外国人であっても様々な立場での在留目的をもっている外国人で構成されています。

皆さんも是非福岡の元留学生たちが企画した留学生との交流会「CIP カフェ」に参加してみてもは如何でしょうか。



写真出展：柳基憲研究主査「CIP カフェ」の様子
(柳基憲 研究主査)

◆マスコミでみる「URC」の今！ー最近 1 か月の情報を中心にー

◎新聞

(2016/1/28 長崎新聞 16p)

子どもが主役！広がる「かえっこ」青森・十和田現代美術館長 藤浩志さん考案リサイクル→交流の場へ発展
市民研究員 OB 藤浩志さんが考案した仕組みが紹介される。(☆印＝以下関連記事)

(2016/1/20 毎日新聞 朝刊 20p)

姪浜の魅力を発信「まちの案内所」
URC OB 大塚政徳さんが事務局を務める姪浜唐津街道まちづくり推進協議会の案内所移転記事

(2016/1/22 秋田魁新報 朝刊 23p)

荒川静香さん特別講義 フィギュアと芸術、表現方法を比較へ 2 月 8 日、秋田文化会館
市民研究員 OB 藤浩志さんが司会を務める特別講義の開催予告

(2016/1/19 東奥日報 朝刊 4p)

いらないおもちゃをポイントに→新しいものに交換 豊かに広がる「かえっこ」十和田現代美術館・藤館長が考案
地域交流やアートまで ☆

(2016/1/17 下野新聞 26p)

豊かに広がる「かえっこ」いらないおもちゃを交換/不要品がアートに発展/人気者「トイザウルス」も誕生 ☆

(2016/1/14 読売新聞 朝刊 31p)

平成 27 年度ふるさとづくり大賞表彰
URC OB 大塚政徳さんが事務局を務める姪浜唐津街道まちづくり推進協議会の受賞記事(◎印＝以下同じ)

(2016/1/13 岩手日報 朝刊 12p)

「かえっこ」各地で人気 子ども主体の玩具リサイクル ポイント制、お金不要 アートや交流 幅広く ☆

(2016/1/9 西日本新聞 朝刊 5p)

政治・内政アラカルト 短信：姪浜まちづくり推進協議会にふるさとづくり総務大臣賞 ◎

(2016/1/8 中日新聞セレクト 13p)

広がってます かえっこ いらないおもちゃ ポイントに交換 青森の美術館長 仕組み考案 お祭り感覚 1000 カ所以上で開催 ☆

(2015/12/29 西日本新聞 朝刊 20p)

九州経済＝ビッグデータの活用セミナー
URC 平成 27 年度第 5 回目の都市セミナー開催予告

(2015/12/29 宮崎日日新聞 朝刊 15p)

遊(あそび)/不要なおもちゃ交換/かえっこ活動広がる/全国共通ポイント魅力 ☆

(2015/12/27 熊本日日新聞 朝刊 3p)

特報 高評価「優しく真面目…」県内介護現場の外国人労働者 EPA 制度に疑問の声も
小川全夫特別研究員がコメント

(2015/12/25 建設通信新聞 10p)

中央ふ頭に 12m 岸壁/福岡市の博多港港湾計画改訂案/大型クルーズ船受入強化
URC OB 樗木武さんが博多港地方港湾審議会の会長を務める (*印＝以下同じ)

(2015/12/25 日刊建設工業新聞 10p)

福岡市/博多港港湾計画改訂案/中央ふ頭の岸壁延伸、海面処分場を新設 *

◎雑誌

(2016/1/25 日経ビジネス 25p)

「活力ある都市ランキング Part1 先進自治体に学ぶ「働く世代」を基準に都市間の争奪戦激化に当研究所発行「Fukuoka Growth July/2015」の 2014 年度の開業率(21 大都市比較)のグラフが引用される。
URC OB の的野浩一さんのコメントが紹介される。

(2016/1/20 avanti 2016.2)

3p 第 252 回アヴァンティ・ゼミ 20 年後の福岡は?都市マーケティングで考える福岡の未来/URC OG 山下永子さんが講師を務めるゼミの開催予告 31 p 研究室訪問も